

B型肝炎ウイルス母子感染防止に関する研究

1. HBIG, HB ワクチン併用によるHBV垂直感染予防

松本脩三*, 富樫武弘, 柴田睦郎

要約 国家事業方式によるHBIGとHB ワクチン併用によるHBV垂直感染予防措置を受け、1年以上経過を追った児26例中、1例(3.8%)がキャリア化した。この成績はこれ以前に行なわれた combination prophylaxis と比して同等の成績(116例中6例キャリア化, 5.2%)であった。

見出し語 HBIG, HB ワクチン, 母児感染予防

研究方法 昭和61年1月から62年12月までの2年間に北海道内において、HBe抗原陽性妊婦から出生した児に対して、HBIG 2 doses, HB ワクチン 3 doses を投与、接種した。これらの児から0, 1, 2, 3, 6, 9, 12, 18, 24カ月の9点に採血して、血清中のHBs抗原, HBs抗体の有無を検索した。同時にGOT, GPTも測定した。3カ月以上はなれた2点でHBs抗原が陽性でかつ最終採血時でも陽性であった児をキャリア化と判定した。HBIGは1 dose 1 ml中に200 IUを含有し、生後0, 2カ月時に筋肉内投与し、HB ワクチンは血漿由来で1 dose 0.25 ml中に10 μg抗原蛋白を含有し、生後2, 3, 5カ月に皮下接種した。

結果 この方法によって生後12カ月以上follow up された児は26例おり、キャリア化したものが1例(3.8%)、12カ月時点でHBs抗体を保有していたものが23例(88.5%)、HBs抗原・抗体ともに陰性のものが2例(7.7%)であった。

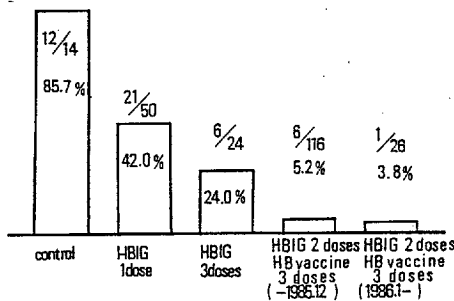


図1. HBe抗原陽性妊婦から出生した児の1年後のキャリア化率。

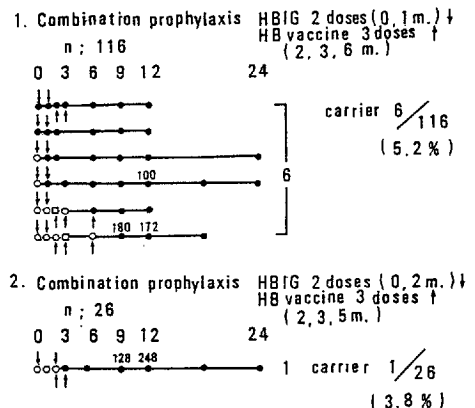


図2. HBIG, HB ワクチン併用により垂直感染予防措置を受け、キャリア化した児の経過図。図中の●の上の数値はS-GPT国際単位値を示す。

考察 昭和57年5月から59年7月までの2年間にHBe抗原陽性HBVキャリア妊婦から出生して、生後0, 1カ月にHBIGを2 doses 筋注投与され、2, 3, 6カ月にHBワクチンを3 doses 皮下接種された児116例の生後12カ月時点のキャリア化は6例(5.2%)、HBs抗体陽性97例(83.6%)、HBs抗原・抗体とも陰性13例(11.2%)であった。この成績と比較して国家事業方式によるcombination prophylaxisは、児のキャリア化阻止効果でみる限り、同等の効果があったものとみることができる。この成績は北海道内以下の12病院の産科・小児科において行なわれたものである。北大医学部附属病院、聖母会天使病院、札幌南病院、札幌厚生病院、市立札幌病院、札幌鉄道病院、市立小樽病院、帯広厚生病院、釧路日赤病院、北見日赤病院、苫小牧王子病院、函館中央病院。

文献

- 1) 松本脩三ら：難治性ウイルス感染の治療と予防。日小皮会誌，6：16，1987
- 2) 富樫武弘ら：B型肝炎の治療と問題点。医学のあゆみ，142：565，1987
- 3) 柴田睦郎ら：小児期B型肝炎ウイルスキャリアの長期予後。日小誌，91：3754，1987

2. HBe抗原陰性HBVキャリア妊婦から出生した児に対するHBIG投与効果 松本脩三，富樫武弘，柴田睦郎，萩沢正博，沢田博行

要約 HBe抗原陰性HBVキャリア妊婦から出生した児に対して、HBIG 1 dose を投与することによってHBV母児感染の予防効果を検討した。12カ月以上経過を追った児41例中、HBV感染が2例(4.9%)にみられた。この成績は以前に行なわれた対照に比して(127例中12例感染、9.4%)低率であった。

見出し語 HBIG，HBe抗原，母児感染

研究方法 昭和61年2月から61年1月までの1年間に、北大医学部附属病院と聖母会天使病院でHBe抗原陰性のHBVキャリア妊婦から出生した児に対して、HBIGを1 dose投与した。これらの児から0, 1, 2, 3, 6, 9, 12カ月の7点に採血して、血清中のHBs抗原，HBs抗体の有無を検索した。同一検体でGOT, GPT値も同時に測定した。投与したHBIG 1 dose 1 ml中に200 IUのHBs抗体を含有し、生後できるだけ早期に臀筋内に注射した。S-GOT が上昇しかつS-GPT値が100国際単位以上に上昇した場合に肝炎発症と診断した。

成績 この方式で12カ月以上follow upされた児は41例であった。母親がHBe抗原・抗体とも陰性であった6例には、HBs抗原一過性陽性者、HBs抗体持続陽性者、肝炎発症者は1例もみられなかった。母親がHBe抗体陽性であった35例には、一過性HBs抗原陽性者1例、持続的HBs抗体陽性者1例、肝炎発症者3例がみられた。

考察 昭和51年11月から57年7月の約6年間にHBe抗原陰性HBVキャリア妊婦から出生し、HBIGの投与を受けずに生後12カ月以上自然経過を追跡された児は127例であった。これらのうちHBe

抗原・抗体共に陰性の妊婦から出生した22例の児に1例のキャリア化, 3例のHBs抗原一過性陽性, 1例の肝炎発症がみられた。HBe抗体陽性妊婦から出生した105例の児に4例のHBs抗原一過性陽性, 4例のHBs抗体持続陽性, 3例の肝炎発症がみられた。3例の肝炎発症のうち1例はHBs抗体持続陽性例であった。キャリア化した児, HBs抗原の一過性陽性になった児, HBs抗体の持続的陽性になった児のいずれかをHBV感染者とすると、非投与の127例中12例(9.4%)が感染者となった。一方この度のHBIG 1 dose 投与群のHBV感染者は41例中2例(4.9%)であった。

文献

- 1) 富樫武弘ら: HBVの母児感染とその予防. 臨床とウイルス, 14:417, 1986
- 2) 富樫武弘ら: HBe抗原陰性のHBVキャリア妊婦から生まれた児の自然経過と抗HBsヒト免疫グロブリン製剤による感染予防効果. 日小誌, 90:2748, 1986

Abstract

Prevention study of HBV transmission from mothers to their infants.

1. Combination prophylaxis of HBIG and HB vaccine for prevention of HBV transmission from mother to infant.

Matsumoto, S*, Togashi, T., Shibata, M.

Twenty six babies born to HBe antigen positive HBV carrier mothers were administered 2 doses of HBIG (0, 2 months of age) and inoculated 3 doses of HB vaccine (2, 3, 5 months of age) in the hospitals affiliated to our medical school by National Program for the prevention of vertical transmission of HB virus. Among them one infant (3.8%) became HBV carrier state at 1 year of life. The efficacy of this type of combination prophylaxis is as same as that of our previous study for prevention of the HBV vertical transmission.

2. HBIG prophylaxis in babies born to HBe antigen negative HBV carrier mothers.

Matsumoto, S*, Togashi, T., Shibata, M., Hagiwara, M., Sawada, H.

To evaluate one dose of HBIG injection, 41 babies born to HBe antigen negative HBV carrier mothers were administered 1 dose (200 IU/1 ml) of HBIG and were followed up for more than 1 year of life.

Among them one baby became HBs antigen positive once during the follow-up period and one baby became positive for anti-HBs persistently.

As compared with 9.4% (12 out of 127 babies) in non-treatment group, the mother to infant infection of HBV was scarce in the HBIG group (2 out of 41 babies, 4.9%).

* 北海道大学医学部小児科学教室 (Dep. of Pediatrics Hokkaido University School of Medicine)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約 国家事業方式による HBIG と HB ワクチン併用による HBV 垂直感染予防措置を受け、1年以上経過を追った児 26 例中、1 例(3.8%)がキャリア化した。この成績はこれ以前に行なわれた combination prophylaxis と比して同等の成績(116 例中 6 例キャリア化, 5.2%)であった。